

奈良県の観光の課題について

奈良県が抱える観光課題

【現状】

- ①観光客数：一定数来ている
- ②インバウンド：**全国トップクラス**

【課題】

- ③観光消費額：**非常に少ない**
- ④宿泊客数：**非常に少ない**
- ⑤観光客が**奈良公園周辺に集中**

【現状】①観光客数：一定数来ている

出典：奈良県「観光客動態調査」

観光庁「共通基準による観光入込客統計」

・観光入込客数 全国19位(令和元年:4,502万人)

・コロナ禍前まで、年々増加



全国順位 **28位/44** **29位/44** **26位/43** **25位/44** **24位/40** **20位/36** **19位/32** **15位/30** **13位/31**

(公表済み都道府県数(令和5年8月31日時点) H25:44、H26:44、H27:43、H28:44、H29:40、H30:36、R元:32、R2:30、R3:31

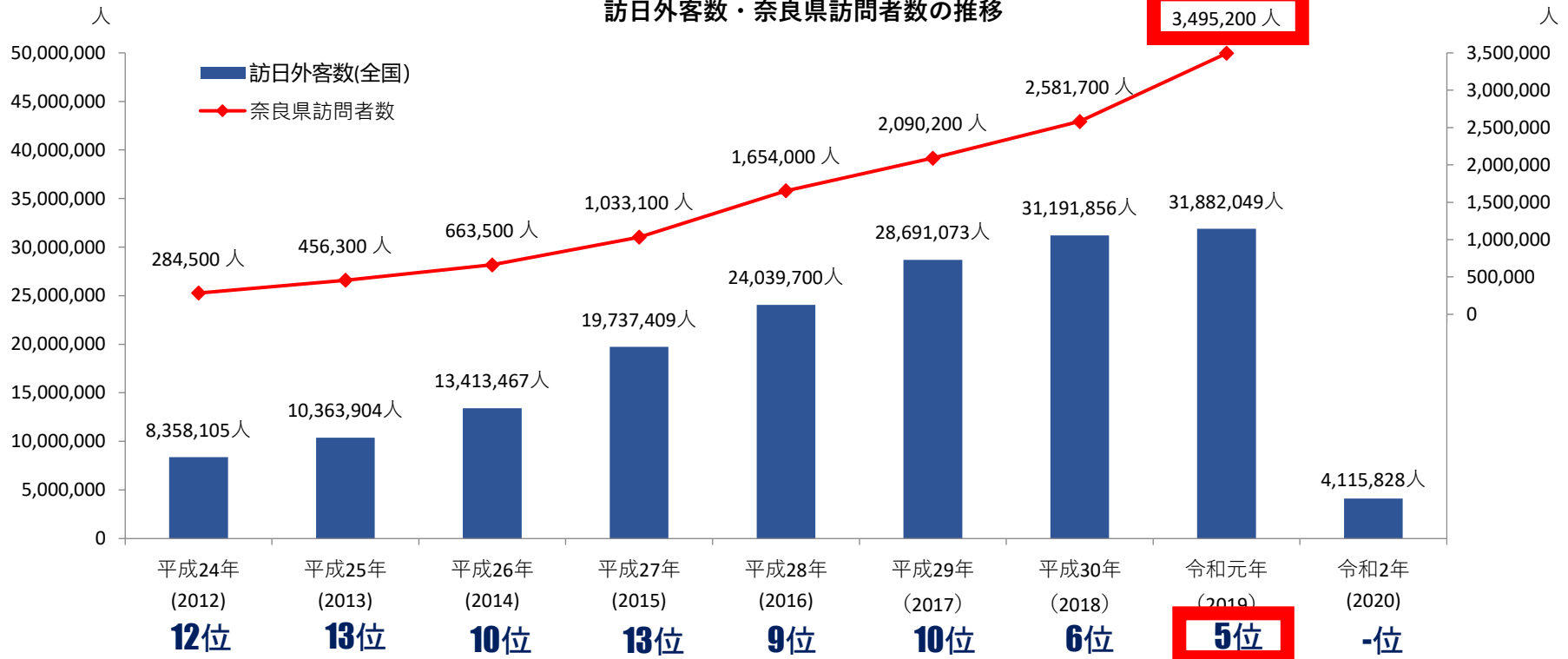
【現状】②インバウンド：全国トップクラス

出典：JNTO(日本政府観光局)「訪日外客数」
観光庁「訪日外国人消費動向調査」

・インバウンド数：全国5位(令和元年：350万人)

※2位 大阪、4位 京都

訪日外客数・奈良県訪問者数の推移



※令和2年4月～令和5年6月は調査中止のため不明

【課題】③観光消費額：非常に少ない

出典：観光庁「共通基準による観光入込客統計調査」

- ・毎年、全国平均と 大きな開き（奈良県 5,308円、全国平均 9,931円）
- ・宿泊客、日帰り客も、ともに 大きな開き

1人あたり観光消費額

（単位：円）

		計	順位	宿泊客	順位	日帰り客	順位
奈良県	令和3年	5,308	29位/31	23,394	26位/31	3,483	23位/31
	令和2年	4,910	30位/30	23,211	28位/30	3,217	27位/30
	令和元年	6,606	29位/32	24,807	25位/32	4,569	25位/32
全国平均	令和3年	9,931	-	27,532	-	5,581	-
	令和2年	10,575	-	29,216	-	5,849	-
	令和元年	11,837	-	30,591	-	5,874	-

※上記の数字には、東京・大阪・京都・沖縄等が含まれておらず、実際はさらなる開きがあると推察される。

【課題】③観光消費額：非常に少ない

出典：：奈良県「観光客動態調査」

- ・宿泊費、土産代、飲食費ともに、伸びしろがある
- ・その他(体験・アクティビティ含む)は、ほとんど消費がない

1人あたり観光消費額 内訳

宿泊客

(単位：円)

	6ヶ年平均 (H28~R3)	割合
合計	24,767	-
交通費	1,510	6.1%
宿泊費	12,958	52.3%
土産代	3,605	14.6%
飲食費	4,968	20.1%
入場料	1,316	5.3%
その他	411	1.7%

日帰り客

(単位：円)

	6ヶ年平均 (H28~R3)	割合
合計	4,223	-
交通費	621	14.7%
宿泊費	-	-
土産代	1,156	27.4%
飲食費	1,344	31.8%
入場料	369	8.7%
その他	732	17.3%

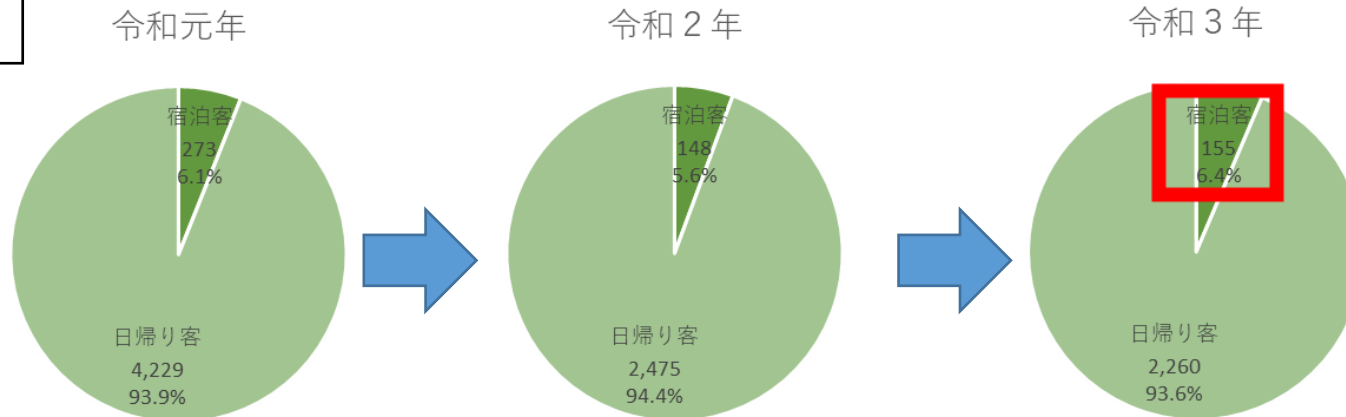
【課題】④ 宿泊客数：非常に少ない

・観光客全体に占める宿泊者の割合：約6%

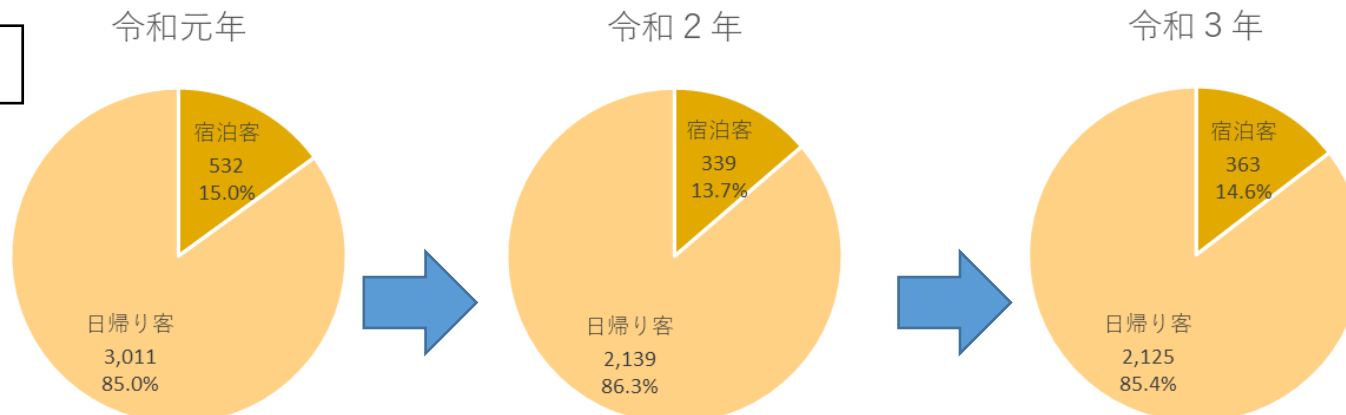
* 和歌山県の半分以下の宿泊者数と割合

宿泊者 割合

奈良県



和歌山県



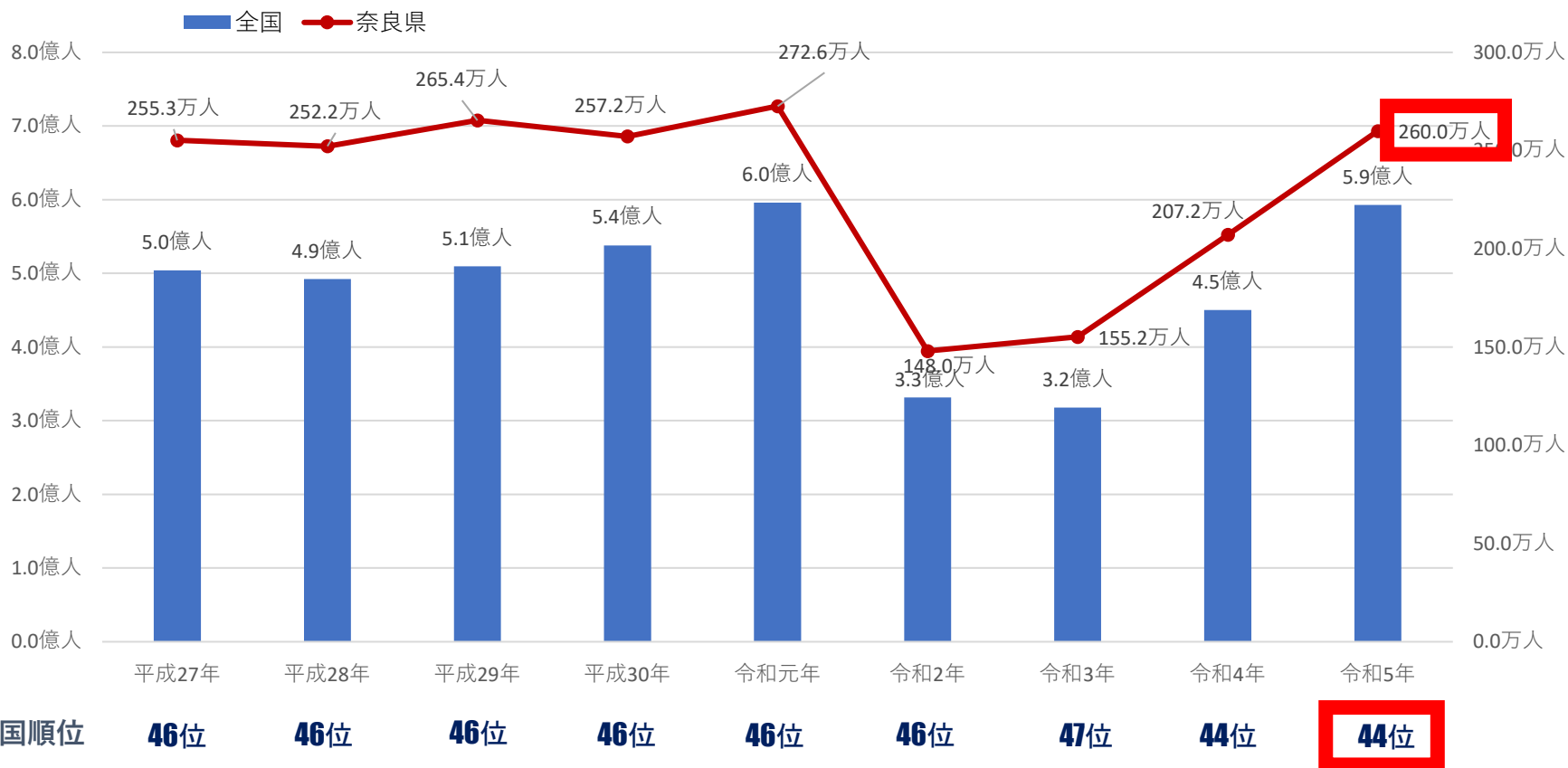
【課題】④宿泊客数：非常に少ない

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

・宿泊者数、全国44位(令和5年:260万人)

＊他の下位都道府県：鳥取県、徳島県、佐賀県

延べ宿泊者数



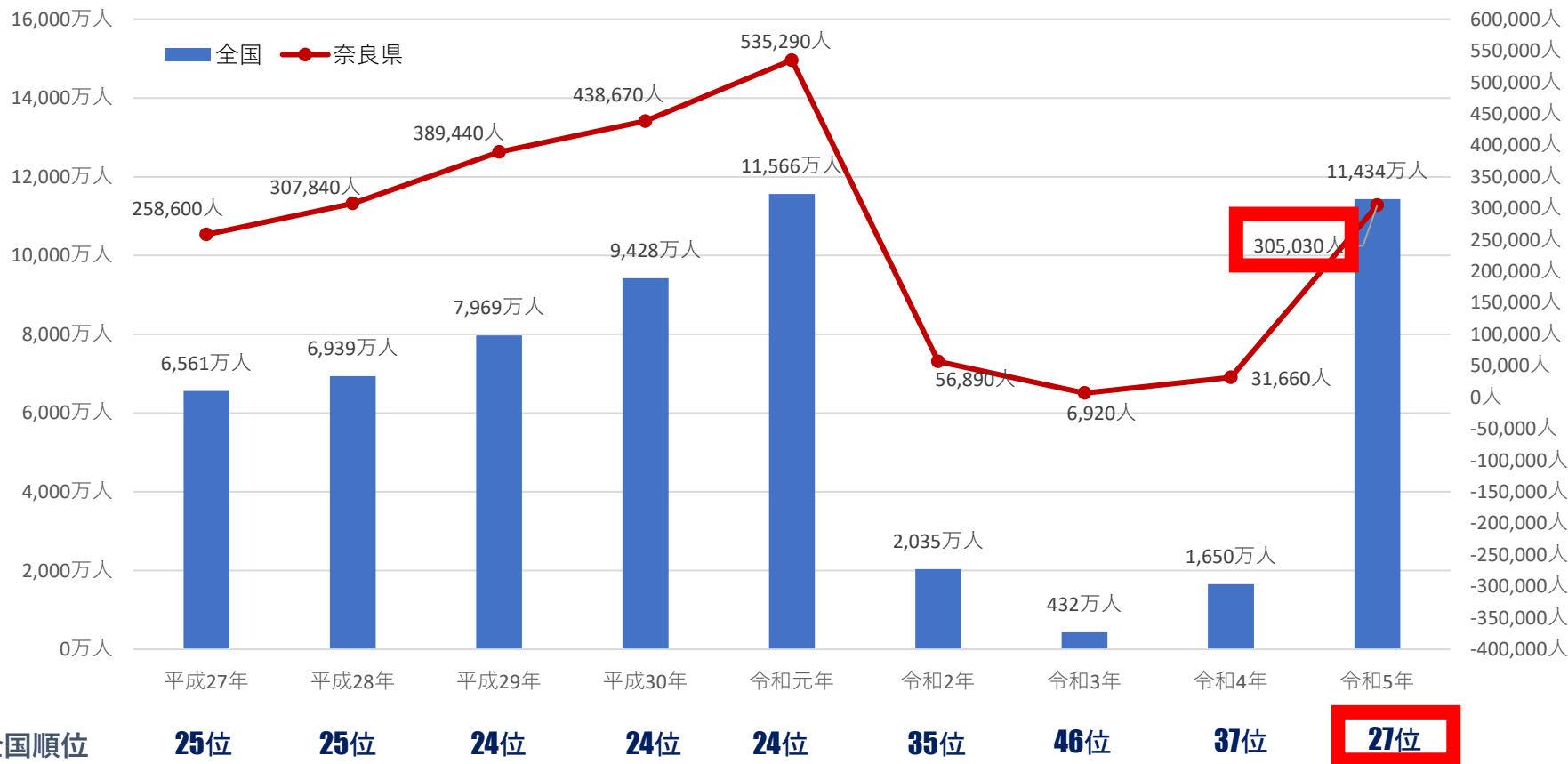
【課題】④宿泊客数：非常に少ない

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

・外国人宿泊者数、全国27位(令和5年:30.5万人)

・訪問者数は全国5位(令和元年) ⇒ 大きな乖離

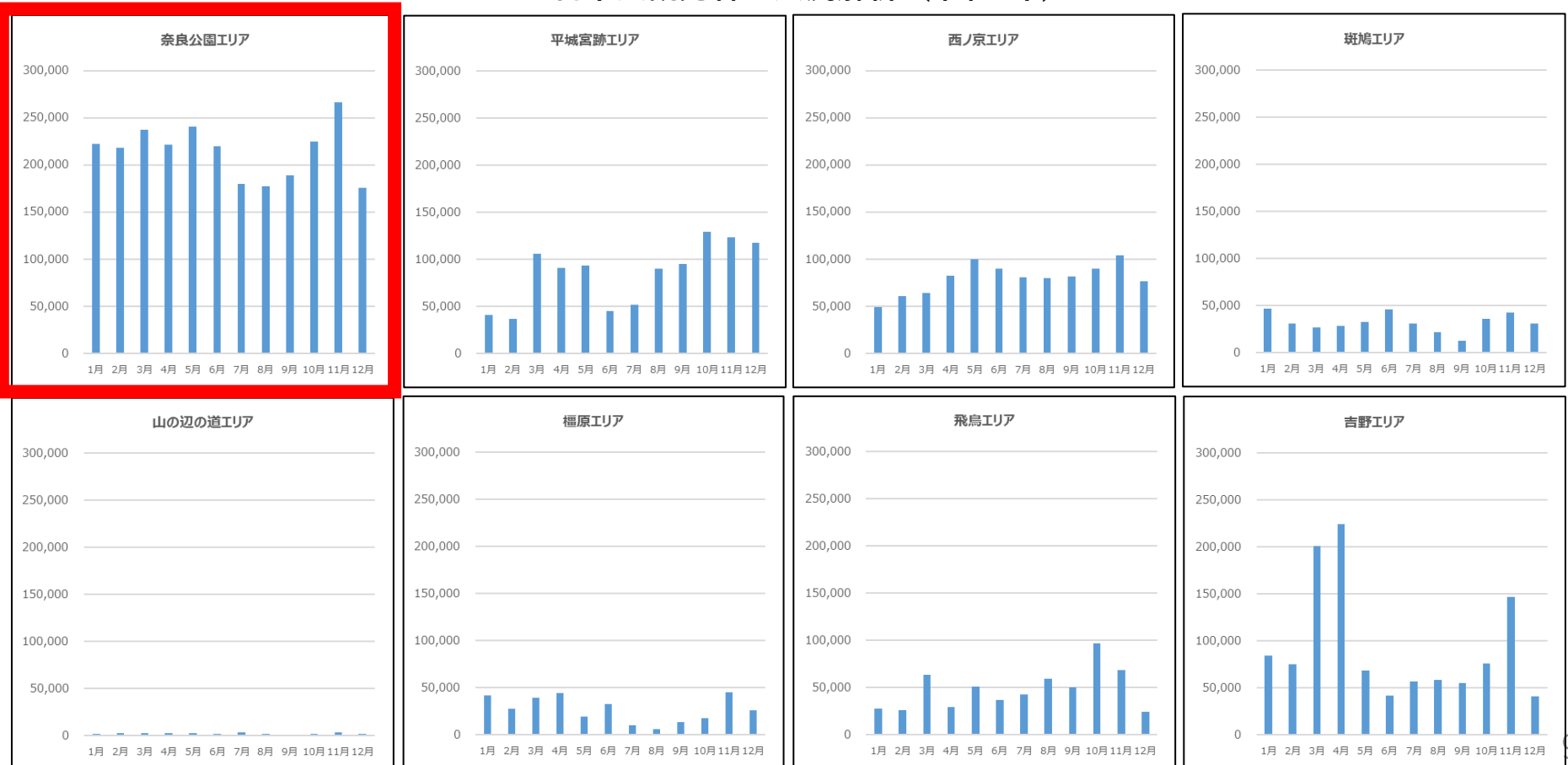
外国人延べ宿泊者数



【課題】⑤観光客が奈良公園周辺に集中

- ・年間を通じて、奈良公園エリアに集中
- ・吉野エリアは 3月、4月の桜の時期に集中

日本人観光客 人流解析（令和5年）



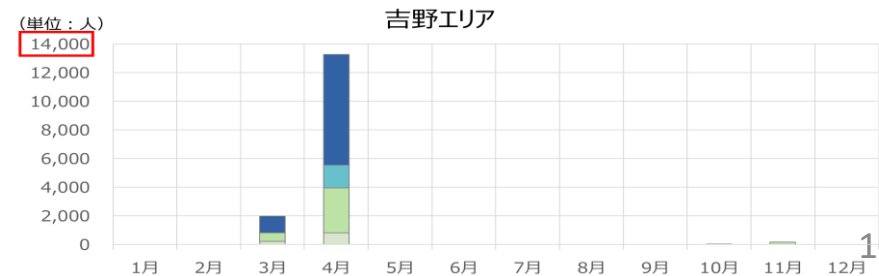
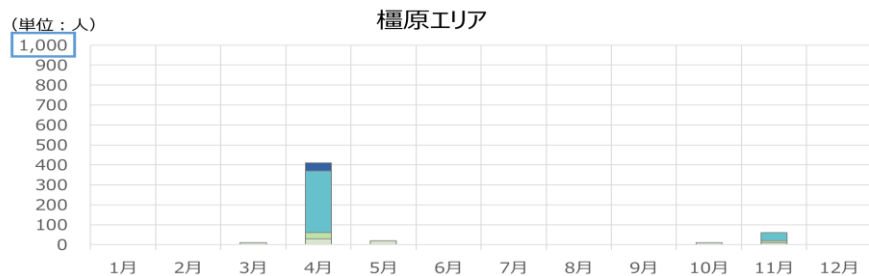
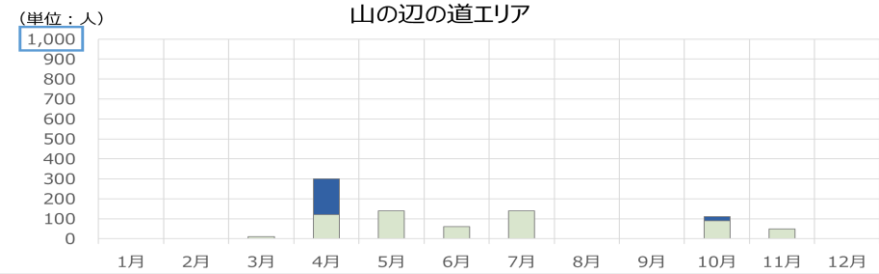
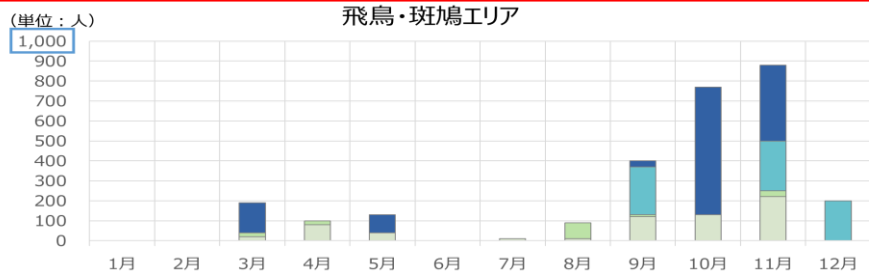
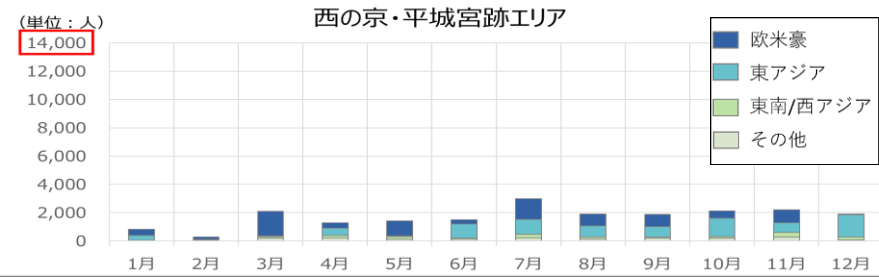
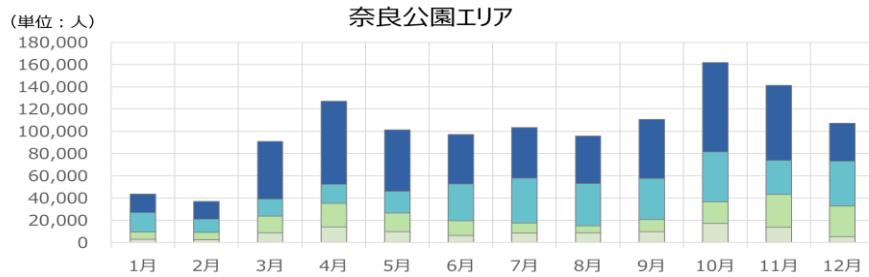
【課題】⑤観光客が奈良公園周辺に集中

・インバウンドも奈良公園エリアに集中

*各エリアと比べ、100倍以上の来訪者が集中している状態

インバウンド 人流解析（令和5年）

※エリアによって左軸の目盛線の数値が違うことに留意



結 論

現在の奈良の観光は

安い

(観光消費額が少ない)

浅い

(滞在時間が短く、深い魅力を知ってもらえていない)

狭い

(奈良公園周辺に集中)